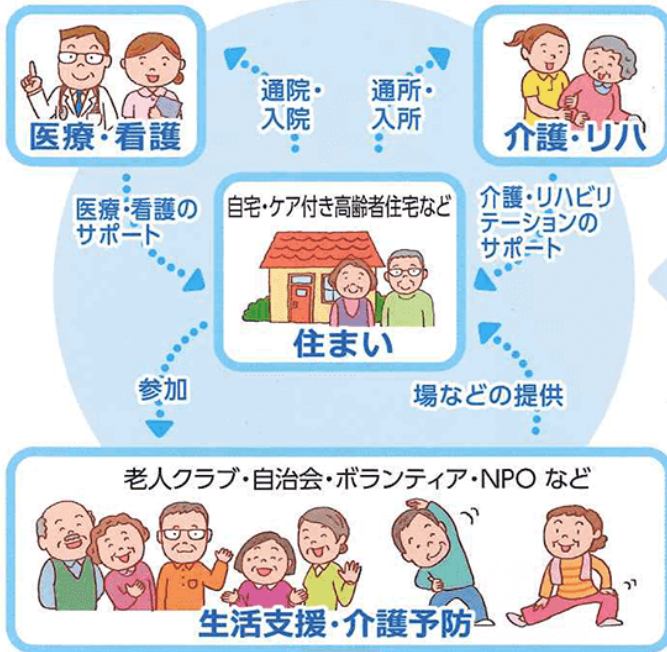


# 地域包括ケアシステムで、住みやすいまちづくりを

要介護状態や認知症になっても、「ときどき病院、いつもは在宅」で過ごせるまちづくりを目指す「地域包括ケアシステム」。住む人によって、まちの特色によって、具体的なカタチは変わります。だからこそ、「行政と皆さんの地域力が一緒になってつくる！」それが私たちのまちの「地域包括ケアシステム」です。

※「地域包括ケアシステム」は、人口1万人程度の中学校区を目安に、身近な生活圏を単位として想定されています。

## 地域包括ケアシステムのイメージ



## 調整役

地域包括支援センター  
ケアマネジャー



相談業務や  
サービスの  
コーディネート  
を行います。

ケアプラン



相談ごとやお困りごとは  
地域包括支援センターへ！

武蔵村山市では、歩いて通える場所に介護予防ができ  
地域住民同士がつながれる場「お互いさまサロン」づくりを進めています。  
また、地域住民のちょっとした生活の助け合い活動や  
移送サービスなども広がっています。



会場 店舗・銀行



会場 個人宅



会場 自治会館・公共施設



会場 銭湯

2025年までに  
歩いて通える場所に  
70か所のサロンを！



会場 幼稚園・保育園・小学校



会場 介護関連施設



生活の助け合い



移送サービス